

第49期
株主通信

2020年4月1日～2021年3月31日



イフジ産業株式会社

証券コード2924

株主の皆様へ



代表取締役社長 藤井 宗徳

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第49期（2020年4月1日～2021年3月31日）の事業の概況をご報告させていただきます。

新型コロナウイルスの感染拡大により厳しい状況が続く中、食品業界におきましては、外出自粛要請や休業要請、営業時間短縮等により外食等の需要が減少する一方で、中食・内食の需要が増加するなど、食の需要が大きく変化いたしました。また、鶏卵業界では鳥インフルエンザが全国的に大発生したことから、鶏卵の需給動向の先行きが懸念されます。

このような状況の中、当期の連結売上高は、前期に比べ3.4%減の13,825百万円となりました。一方、損益につきましては、連結営業利益は同27.6%増の1,184百万円、連結経常利益は同27.2%増の1,210百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同35.2%増の830百万円となり、いずれも最高益を前期に引き続き更新し、連結営業利益と連結経常利益は7期連続の増益を達成いたしました。

鶏卵関連事業におきましては、当セグメントにおける業績の重要な指標である販売数量は、前期に比べ0.8%増となりました。新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、これをカバーするため新規取引先の獲得や冷凍食品等の内食向けが増加したことによるものです。

売上高につきましては、鶏卵相場が6.4%低下したことに伴い、これに連動する販売単価も低下した影響が大きく、前期に比べ3.7%減の12,696百万円となりました。セグメント利益は、新規取引先の獲得及び既存取引先における新たな需要の開拓、購買施策の多様化による材料費の低減、生産性の向上による製造コストの削減等により同26.6%増の1,140百万円となりました。

調味料関連事業におきましては、売上高は、前期に比べ1.0%減の1,152百万円となりました。セグメント利益につきましては、在庫管理

当期実績

▲	▶ 販売数量 (鶏卵関連事業)	56,288 t 0.8 %増
▼	▶ 売上高	13,825 百万円 3.4 %減
▲	▶ 営業利益	1,184 百万円 27.6 %増
▲	▶ 経常利益	1,210 百万円 27.2 %増
▲	▶ 親会社株主に帰属 する当期純利益	830 百万円 35.2 %増
▲	▶ 1株当たり年間配当金 中間10円、期末14円	24 円

(%表示は、対前期増減率)

の徹底やテレワークの拡大に伴う出張抑制等により、同91.7%増の30百万円となりました。

その他のセグメントである太陽光発電事業は、売上高は前期に比べ3.0%増の24百万円、セグメント利益は同16.6%増の14百万円となりました。

当社は、良質な製品とサービスを安定的・継続的に供給して「食のインフラ」を構築し、お客様のニーズに応じていくことを使命としております。この使命を確実に果たすため、新型コロナウイルス感染症による食の需要の変化に対しても積極的な拡販により対応しております。鳥インフルエンザの流行による鶏卵の需給逼迫の懸念に対しても、仕入拠点や仕入手段の拡大と多様化に努めてまいります。また、品質保証体制の強化や社員の知識とスキルの向上に努め、品質の一層の向上を図ってまいります。さらに、AIやIoT等を活用した生産性向上に努めるとともに、大きく変化する経営環境の中で持続的に成長するための人材育成に注力してまいります。

調味料関連事業につきましては、購買施策の多様化、在庫管理の徹底、マーケティングのさらなる強化を図るとともに、製菓・製パンメーカーへ販路を拡大して鶏卵関連事業とのシナジー効果を高め、収益力の向上に注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

「サステナブルサプライ」で日本の「食のインフラ」を支えています

年間約12億個分の卵を液卵という形に変え、「サステナブルサプライ」で日本の「食のインフラ」を支えています。

イフジ産業の液卵は、パンやお菓子、マヨネーズ、冷凍食品など様々な食品になり、豊かな食生活において活躍しています。



液卵を使用することによる

5つのメリット

- 1 作業効率のアップ**
割卵の手間が省けて衛生的
- 2 品質の安定**
製品の均一化が図れる
- 3 経済性**
原材料費の不安定さを抑える
- 4 貯蔵性**
凍結することで長期保存が可能
- 5 作業環境**
保管と輸送の効率化と二次汚染防止

三位一体の供給体制



3

安全を実現する生産体制

■原料の入荷から製品の出荷まで、各工程で一貫した生産管理を行っています



4

商品ラインナップ

液卵



液全卵ホール



液全卵



液卵黄



液卵白

凍結卵



凍結全卵
凍結20%加糖全卵
凍結20%加糖卵黄
凍結10%加塩卵黄
凍結卵白
凍結製菓用卵白

ミニパック



凍結全卵



凍結20%加糖卵黄



凍結製菓用卵白

凍結卵ピロー包装



凍結卵ピロー包装(1kg)



凍結卵ピロー包装(500g)

茶わん蒸しベース



凍結
茶わん蒸し
ベース



凍結濃縮
茶わん蒸し
ベース

ゆで玉子



水煮
ゆで玉子



おでん
味付玉子

RISE第6代ライト級王者の 原口健飛選手とスポンサー契約を締結



発売以来ご好評いただいているREVOPRO®はこの度、立技格闘技RISEの第6代ライト級王者の原口健飛（はらぐちけんと）選手とスポンサー契約を新たに締結しました。

原口選手は、23歳ながら国内外のトップ選手を次々と撃破し、RISEの最前線で戦い続けるトップファイターです。

原口選手は、「試合に勝つためにはハードなトレーニングと身体づくりが必要です。高品質のたんぱく質がおいしく摂取できるREVOPRO®は、欠かすことができません」と語っています。

さらなる高みを目指す原口選手をREVOPRO®は応援します。

パウチタイプ新発売



ご希望の多かったパウチタイプ（内容量：1kg）を発売いたしました。

スプーン1杯（30g）でタマゴ約7個分の卵白のたんぱく質

- たんぱく質原料は「卵白」を100%使用
- 100g当たり76.3gの高たんぱく質配合
- 体内利用率（*1）は良質のたんぱく質とされるホエイ（乳清）よりも優秀

*1 体内利用率…消化・吸収されて体内で利用される割合
*2 Matsuoka et al. The Scientific World Journal 2017

卵白
97.5%

*2

ホエイ
90.5%

*2

人工甘味料不使用

- 年間12億個のタマゴを加工するイフジ産業の知見と日本化工食品の調味料製造で培ったプロの技術力によるイフジ産業グループのコラボレーションにより、人工甘味料不使用でも芳醇かつスツクリとしたコクとキレのあるプレミアムチョコレート味を実現しました。

乳糖不使用

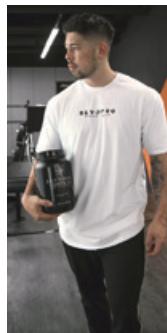
- 日本人の4人に1人は「乳糖不耐症」といわれており、ホエイ（乳清）プロテインを飲まれてお腹の調子がよくない方はこの乳糖不耐症の可能性がります。REVOPRO®は乳由来の成分を一切使用していません。



竹本直人選手



MIHARU選手



カネキン選手

プロも愛飲

「乳糖不使用」「たんぱく体内利用率の高さ」などの特長により高い評価をいただいております。IFBB（国際ボディビルダーズ連盟）のプロ選手3名とスポンサー契約を結んでいます。

REVOPRO <https://revopro.jp/>



卵の可能性をテクノロジー＝「タマゴテック」で切り拓く

従来廃棄されてしまっていた卵殻・卵殻膜を人体や環境に配慮した新素材、代替素材へ転生させ、社会に貢献します。

■ 卵殻テック

バイオアパタイト＝

$(Ca : Mg)_{10}(PO_4)_6(OH)_2$ の展開

卵殻膜を剥離した卵殻とリン酸を合成した化合物・バイオアパタイト。

優れた生体親和性と1g当たり70㎡もの表面積を有する優れた吸着性能を持ち、薬品・化粧品・医療や代替原料など様々な分野への応用が実現できます。



バイオアパタイトを配合した石鹸・歯磨き粉

卵殻カルシウムの活用

鉱物由来の石灰から卵殻に置き換えることにより、廃棄される卵殻を製品へと再利用。

通常使用される消石灰のライン引き材等はアルカリ性が強く、やけどや目に入ることによる視力障害を引き起こす可能性があります。卵殻カルシウムにはそれらの恐れがありません。

ライン引き材のほか、スポーツ用滑り止め材、チョーク等、新たな用途で製品化されています。

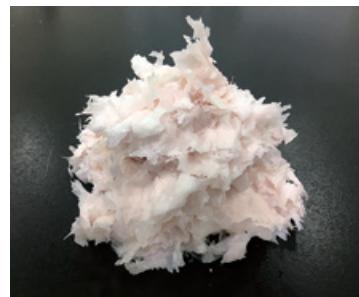


卵殻由来のライン引き材

■ 卵殻膜テック

卵殻膜の活用

呼吸のための通気性を確保して卵の中身を守る役割を持つ卵殻膜。卵殻と卵殻膜を分離する技術をもとに、美容や医療、健康市場における可能性を見出していきます。



分離された卵殻膜

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科目	前期末 (2020年3月31日現在)	当期末 (2021年3月31日現在)	科目	前期末 (2020年3月31日現在)	当期末 (2021年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	5,450	6,221	流動負債	2,388	2,556
現金及び預金	2,464	2,966	固定負債	2,027	1,758
受取手形及び売掛金	1,970	2,223	負債合計	4,415	4,315
その他	1,015	1,032	純資産の部		
固定資産	4,997	4,817	株主資本	5,986	6,675
有形固定資産	4,832	4,662	資本金	455	455
無形固定資産	6	5	資本剰余金	366	372
投資その他の資産	158	150	利益剰余金	5,295	5,954
			自己株式	△131	△107
			その他の包括利益累計額	46	47
			その他有価証券評価差額金	46	47
資産合計	10,448	11,038	純資産合計	6,032	6,723
			負債純資産合計	10,448	11,038

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しています。

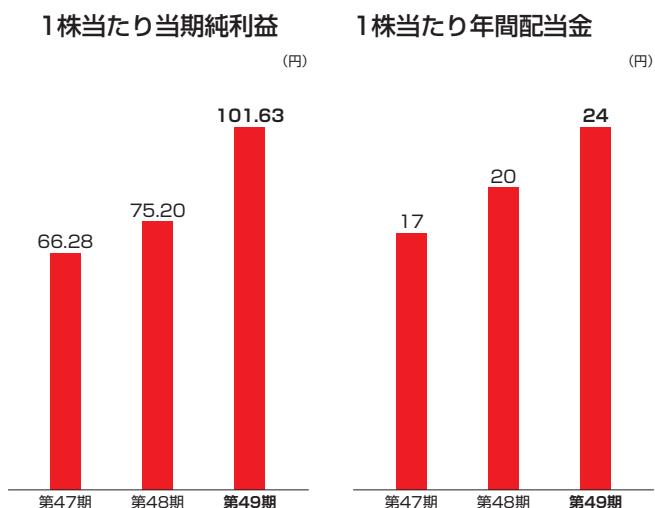
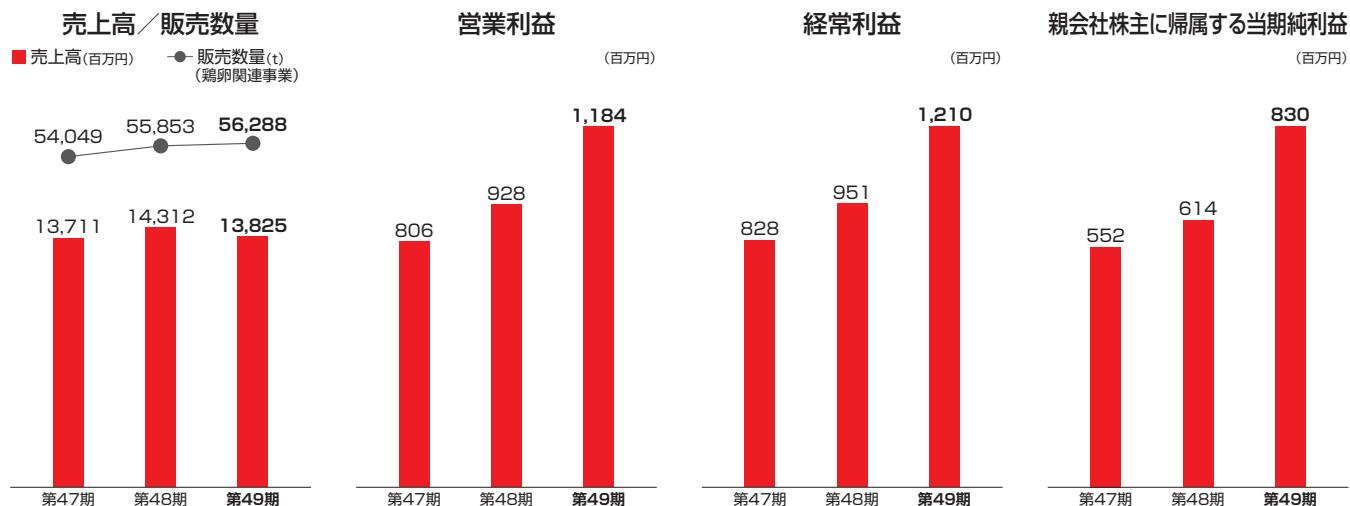
■ 連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	前期 (2019年4月1日～ 2020年3月31日)	当期 (2020年4月1日～ 2021年3月31日)
売上高	14,312	13,825
売上原価	11,437	10,592
売上総利益	2,874	3,233
販売費及び一般管理費	1,945	2,048
営業利益	928	1,184
営業外収益	34	35
営業外費用	11	9
経常利益	951	1,210
特別利益	27	21
特別損失	55	21
税金等調整前当期純利益	924	1,210
法人税、住民税及び事業税	331	401
法人税等調整額	△21	△21
親会社株主に帰属する当期純利益	614	830

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しています。

連結決算の主要な指標



■ 配当について

当社グループは、株主の皆様に対する適切な利益還元を重要な経営目標と位置付けております。また、当社の属する液卵業界において市場競争力を確保し、シェア及び収益の向上を図るためには、製造設備、研究開発等の積極的な投資が必要であると考えております。

株主の皆様に対する利益還元の基本方針としましては、経営体質の強化や今後の事業展開を勘案した内部留保にも留意しつつ、連結ベースで配当性向25%~30%とすることを目標として、中間配当及び期末配当の年2回としております。

第49期の配当につきましては、期末配当は当初の予想である12円より2円増となる14円とさせていただきました。また、中間配当は当初の予想どおり10円とさせていただきます。

株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 16,792,000株
 発行済株式の総数 8,178,759株 (自己株式166,611株を除く)
 株主数 5,700名

所有者別分布状況



個人・その他	6,214千株	74.5%
金融機関	1,069千株	12.8%
その他国内法人	743千株	8.9%
外国法人・外国個人	39千株	0.5%
証券会社	112千株	1.3%
自己名義株式	166千株	2.0%

※千株未満は切り捨てて表示しています。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード 2924

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media)についての詳細 <https://www.a2media.co.jp> ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
 「e-株主リサーチ事務局」

MAIL: info@e-kabunushi.com

13

会社概要 (2021年3月31日現在)

商号 イフジ産業株式会社
 (英文商号: Ifuji Sangyo Co., Ltd.)
 設立年月日 1972年10月3日
 資本金 4億5,585万円
 本社所在地 〒811-2318
 福岡県糟屋郡粕屋町戸原東二丁目1番29号
 TEL 092-938-4561 (代表)
 従業員数 117名 (臨時従業員の期中平均雇用人数 314名)
 ※臨時従業員には、パートタイム従業員及びアルバイトを含み、派遣社員を除いています。
 事業部 関東事業部 茨城県水戸市酒門町4476-17
 TEL 029-248-2311
 名古屋事業部 愛知県安城市二本木新町一丁目8番7号
 TEL 0566-72-1611
 関西事業部 京都府綴喜郡井手町大字井手小字合敷3-1
 TEL 0774-99-4801
 福岡事業部 福岡県糟屋郡粕屋町戸原東二丁目1番29号
 TEL 092-938-4561
 グループ会社 日本化工食品株式会社

役員 (2021年6月25日現在)

取締役創業者会長	藤井 徳夫
代表取締役社長	藤井 宗徳
常務取締役	池田 賢次郎
取締役	原 敬
取締役	見島 正文
取締役(社外)	川原 正孝
取締役(社外)	中川 正裕
常勤監査役(社外)	渡邊 明治
監査役(社外)	高宮 哲郎
監査役(社外)	近藤 隆志



◆ホームページのご案内

当社のホームページでは決算の情報に加え、イフジ産業や「REVOPRO®」がわかる動画も配信しています。ぜひご覧ください。

<http://www.ifuji.co.jp/> ▲動画TOP画面

14

株主ご優待について

- 贈呈基準** ▶ 毎年9月30日、3月31日現在の株主様に対し、全国たまご商業協同組合が発行する「たまごギフト券」を年2回、以下のとおり贈呈いたします。
- 株式数100株以上1,000株未満
一律300円（100円券×3枚）
- 株式数1,000株以上
一律1,200円（100円券×12枚）
- 利用方法** ▶ 全国の主な百貨店及びスーパー等で卵の購入の際に利用できます。
- 有効期限** ▶ 発行年度を含む3年度目の3月31日まで（詳細はたまごギフト券をご覧ください）
- 取扱店舗** ▶ 全国の主な百貨店及びスーパー等（詳細は同封書面をご覧ください）



■ 株主メモ

- | | |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月下旬 |
| 基準日 | |
| 定時株主総会 | 毎年3月31日 |
| 期末配当 | 毎年3月31日 |
| 中間配当 | 毎年9月30日 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先
(電話照会先) | 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取扱事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っています。 |
| 公告掲載方法 | 電子公告により当社ホームページ (http://www.ifuji.co.jp) に掲載いたします。ただし、やむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載いたします。 |

■ お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。